



世界へのプレゼントになろう

高岡ロータリークラブ

会長/本間比呂詩 幹事/鞍野誠

2016/4/23

Be a gift to the world

No.36

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951(S.26)/11/15 チャーターN：1952(S.27)/4/15 創立順位：No.68

司会 塩崎(吉) 会場監督 点鐘 本間 会長

ロータリーソング

会長挨拶/報告

幹事報告

■熊本地震義援金協力依頼

■5/5 例会はクラブ定款第 6 条第 1 節 C により

「取消」

委員会報告

■日台ロータリー親善会議実行委員会…会議登録状況と 6/5 日台会議案内

ニコニコBOX < 5件 17,000円 >

本間会長/本日は例会変更して利長公シンポジウムⅡを開催致します。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

加茂君/利長公シンポジウム、四津谷住職のお話楽しみです。

吉田(彦)君/久しぶりの例会です。

塩崎(有)君/妻の誕生日にお祝の花をいただき大変喜んでおりました。

大島君/前回誕生祝有難うございました。

本日のプログラム

利長公シンポジウムⅡ開催

~国宝瑞龍寺と日本遺産をつなぐもの~

武家文化から町衆文化への拡がり

利長公シンポジウムは、平成 4 年に高岡ロータリークラブの 40 周年を記念して、高岡を、そして瑞龍寺や利長公をもっと市民に知っていただく、広めていこうという思いから開催され、以降 20 年以上にわたり続けられています。このことから地域発展委員会では、高岡の歴史・文化を学び高岡の発展をめざして継続的な活動を実施することとし、今年度は国宝瑞龍寺 31 世住職にお越しいただき、基調講演を行うことといたしました。



瑞龍寺は加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺であることから、その住職である四津谷道宏氏の講演は、「利長公シンポジウム」には、この上ない講師の方であると思います。四津谷住職は、

知的でユーモアもあり、瑞龍寺においては落語的拝観説明が好評で、また各地で講演活動も多数行われておられます。瑞龍寺でのコンサートやライ



トップなどを企画され、ボランティア活動も積極的に行い、開かれたお寺の形を模索中とのこととございます。

講演会会場のホテルニューオータニ高岡・鳳凰の間には会員・一般の方を合わせて約 160 名のご来場をいただき開催いたしました。

今回の四津谷住職の基調講演は「前田家の渡世・治世と瑞龍寺建立の謎」の演題で、ご講演をいただきました。高岡の開祖・前田利長公の菩提寺として建立されている瑞龍寺には多くの謎があり、特に利長に対する利常の思いが感じられる。今年大河ドラマ「真田丸」が放送されているが、真田家の生き様と重ねながら、戦国の時代を生き抜いた前田家の渡世と、藩主としての治世を引き合いに出しながら、なぜ高岡に瑞龍寺が造られるに至ったかを検証し、現代に生きる私達の参考になればとのお話でした。



今回の「利長公シンポジウム」により、ふるさと高岡の魅力を再確認していただき、郷土高岡を愛する市民風土の広がりや地域の活性化につなげていくことを考えるよい機会になったのではないかと思います。(三上地域発展委員長)

